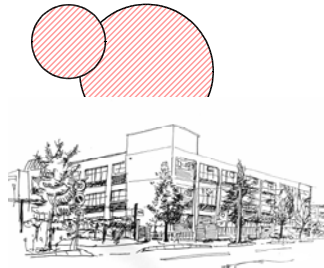


# 明星中学校だより

## 知と和と粘り



〒 070-0025 旭川市東 5 条 1 丁目

Tel 0166-26-0468 Fax26-0469

E-mail: myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成24年12月21日

◇第21号◇

### 文化明星・体育明星 輝く受賞入賞の様子

※敬称は、スペースの関係で省略しています。

コンクール等の名称	賞	氏名(学年-組)
第46回 中学生の「税についての作文」	旭川東地区納税貯蓄組合 連合会会長賞	工藤 綾乃(3-3)
第40回「中学生作文コンクール」	入選	鈴木里璃奈(2-1)
	入選	橋本 乃愛(3-2)
	奨励賞	長谷川真衣(1-2)
	奨励賞	長井 一馬(1-3)
	奨励賞	河村 凧紗(2-3)
	奨励賞	小倉 一桜(3-4)
	奨励賞	高橋 渚(3-4)
	奨励賞	中江 葉玲(3-4)
第45回「受信環境クリーン図案 コンクール」	北海道受信環境クリーン 協議会奨励賞	辻村 詩音(2-2)
第31回「ごはん・お米とわたし」 北海道作文・図画コンクール	図画3部 優秀賞	堀江 月(1-3)
第58回「青少年読書感想文全道 コンクール」第38回「北海道指 定図書読書感想文コンクール」	入選	丸田 真琴(2-3)

★第5回永山杯中学校野球大会  
第3位 野球部

★第5回永山杯中学校野球大会  
敢闘賞 家入 涼輔(2-1)



### シリーズ

### 部活動

吹奏楽部前部長 稲葉 安美



吹奏楽部は、10月28日に定期演奏会を終えて、3年生が引退となりました。定期演奏会を迎えるまで、たくさんの演奏会で演奏させていただき、忙しい毎日が続きました。疲れて嫌になることや逃げ出したくなることもたくさんありましたが、お互いに励まし合って頑張ってきました。私達の演奏を聴いて下さる方々がいることの喜びや感謝の気持ちをもって演奏で恩返しをすることを目標に頑張ってきました。3年生が抜けて大変なこともあると思うけど、1・2年生で協力して、今まで以上に良い部活動をつくりあげていって、毎日を楽しんでほしいです。  
(第二音楽室には、活動の成果と反省の跡が見える掲示物が貼られています。聴いてもらうのに、「一切の妥協と手抜きは許さない!」という決意が伝わってきます。)

### 受信環境クリーン図案コンクール



北海道受信環境クリーン協議会奨励賞  
← 辻村 詩音君



旭川東地区納税貯蓄組合連合会会長賞

→ 工藤 綾乃さん

中学生の「税についての作文」

### 『失敗に見えることが 素晴らしいことの始まり…』

校長 増茂 薫

すでに皆さんご存じのように、iPS細胞を開発した京都大学の山中伸弥教授が、12月10日にスウェーデンの首都ストックホルムでノーベル医学生理学賞を受賞しました。日本人としては実に25年ぶりだそうです。このことは移植手術を待つ多くの患者やご家族の皆さん、そして人類の未来に大きな希望を与えてくれました。

山中教授は、2010年(平成22年)に稲森財団第26回京都賞を受賞され、その記念イベントとして高校生を対象に特別授業を行いました。その中で、山中教授は高校生たちに次のように語ったそうです。「いっぱい失敗してほしい。9回失敗しないとなかなか1回の成功が手に入らない。私自身もそうだった。失敗に見えることが、実は素晴らしいことの始まりかもしれない。」山中教授は、自分の経験から、目標の実現は一筋縄ではいかないこと、失敗を恐れないたゆまぬ努力が必要であることなどを参加して

いた高校生に訴えたかったのだと思います。

今の若者がおかれている状況を考える時に、まさに山中教授が言った、目標に向かって努力する態度やたとえ失敗してもくじけない不屈の精神が必要であり、中学校段階では、社会において自立するための基礎的な学力はもとより、自己肯定感や社会に進んで参画する意欲を高め、自分自身の将来像を描きながらそれに向かって努力する態度の育成が大切になっています。

今年も明星中学校の生徒一人一人はそれぞれの立場で活躍しました。大まかには今までの学校だよりでも紹介させていただきました。これからも、329名の全校生徒そして36名の職員が心一つにして、輝かしい伝統をしっかり引き継ぎ、失敗することを恐れずくじけない強い心をもって歴史の1ページを刻んでいきたいと考えています。地域や保護者の皆様の温かいご支援を今後もお願いいたします。新しい年が皆様にとって幸多からんことをお祈りいたします。

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成24年12月21日

◇第21号◇